

宇都宮市管工事業協同組合

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長、91社）は、新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしいとして、市の「ふるさと宇都宮応援寄付事業」に100万円を寄付。9日に同市役所で、目録ならびに感謝状の贈呈式が行われた。

贈呈式には、同組合から和田理事長、山本幹夫副理事長、中村勝副理事長、川中子武保専務理事が出席。市からは佐藤栄一市長のほか、行政経営部の小関裕之部長と篠崎雄司次長が同席した。

寄付金の使い道について

同組合は昨年1月に

て、和田理事長は「感染者の対応にあたっている医療従事者の方々や、コロナ禍の影響を受けている中小企業の支援に有効活用してほしい」と話し、感謝状を贈呈した佐藤市長は「多額の浄財をこ

寄付いただき、心から感謝申し上げます。PCR検査の実施体制が整ったので、今後は市の経済が回るような施策を進めてまいりたい」と述べ、現場における感染防止対策の徹底を促した。

「ふるさと宇都宮」に100万円寄付

コロナ禍の中小企業など支援

〈4/13 日刊建設〉

も、東日本台風による被災者への義援金として、市に100万円を寄付している。



感謝状贈呈後の記念撮影（中央が和田理事長）